

ず～むあっぴ☆

オホーツク

2019年

12月号

農林水産省  
北海道農政事務所  
北見地域拠点

晩秋の夕暮れ 北見市

私たちのイチオシは

**トマトとおみそとはちみつ** です

合同会社 酒井農園 酒井眞知子さん、片山穂波さん（北見市）

北見市でトマト栽培を中心とした野菜作と養蜂、みそ加工をしている母娘（おやこ）農業女子、合同会社酒井農園の酒井眞知子さん、片山穂波さんをご紹介します。



### 栄養士から農家へ



学校栄養士をされていた眞知子さんは、農業を営んでいる児童の保護者を訪問したことをきっかけに、自らも食をつくる農業を行いたいと思い、2007年に新規就農し、酒井農園の代表を務めています。

夏の期間はトマト13品種をメインに野菜を栽培しており、大手スーパーで酒井農園ブランドとして販売されています。

冬にはみそづくり。就農当初、市内の加工施設を利用して自宅用に加工していました。それをお裾分けしたら大好評。たくさんの方においしい手作りみそを食べてもらいたいという思いを募らせ、就農12年目の昨年2月、自宅の一室を改修して食品加工施設をつくり、「みんなのおみそ」を商品化しました。原材料にもこだわり、北見産大豆と網走産糶、そして長崎五島灘の塩を使っています。「もっと商品に工夫を加えて、地元のみなさんに広くお届けしていきたい！」と眞知子さんはおっしゃっていました。



【食べ頃に収穫されたトマトは多くのファンがいます！】



【養蜂の様子がとてもよくわかる穂波さん手書きのレポート】



### みつばちに惹かれて就農



穂波さんは酒井農園の養蜂担当。もともと眞知子さんが野菜の受粉用に飼おうとしたみつばちでしたが、採蜜もできると知った穂波さん。本格的に養蜂を始めるため、就農しました。昨年「KITAMI HONEY」として商品化しています。みつばちは寒さに弱く、冬の時期には九州や本州南の暖かい地域に移動して飼育するのが一般的ですが、酒井農園では手作りの越冬小屋で冬を越す定住型の養蜂であることが特徴的です。養蜂を始めて3年目。先輩養蜂家の方から養蜂技術を学び、「しっかり技術を蓄積して、少しずつみつばちの数を増やしたい！」と、現在の4群を20群に増やすことを目標にしています。毎日丁寧に気温やみつばちの状態を観察されている記録からは、採蜜への情熱だけでなく、みつばちへの愛を感じました。

「みんなのおみそ」と「KITAMI HONEY」は、今年10月、オホーツクが誇る地場産加工品であることが公益財団法人オホーツク地域振興機構に認められ、「オホーツクブランド」に認証されました。

これからの展開も気になる酒井農園。FacebookやInstagramで情報発信しています。ぜひチェックしてみてください。



【オホーツクブランドに認証されたみんなのおみそとKITAMI HONEY】

オホーツク地域における

# 農福連携推進 シンポジウム

入場料  
無料

日時

2019年

12月12日 木 13:30-16:30

美幌町民会館大ホール「びほーる」（美幌町字東二条北4丁目）

※駐車スペースに限りがありますので、乗り合わせでのご来場にご協力をお願いいたします。

基調  
講演

13:35～14:20

「始めよう！農福連携、進めよう！農福連携」

講師：吉田行郷（農林水産政策研究所 企画広報室長）



事例  
発表

14:20～15:10

「農福連携を取りまく道内の状況」

講師：大泉浩一（一般社団法人れんけい理事）

「オホーツク地域の農福連携の現状」

講師：天羽 仁（オホーツク障がい者就業・生活支援センターあおぞらセンター長）

「JAきたみらいにおける農福連携の取組」

講師：河田大輔（JAきたみらい営農振興部長）



パネル  
ディスカッション

15:15～16:30

オホーツクらしい農福連携モデルを考える

コーディネーター：小川繁幸（東京農業大学生物産業学部助教）

【主催】 農林水産省北海道農政事務所北見地域拠点、北海道オホーツク総合振興局、美幌町

【後援】 北海道農業協同組合中央会北見支所、ホクレン農業協同組合連合会北見支所  
オホーツク農業協同組合連合会、オホーツク障がい者就業・生活支援センター、日本甜菜製糖株式会社  
日甜美幌地区4ヵ町村甜菜振興対策協議会、東京農業大学生物産業学部（順不同）

農業女性のもう一步を応援！

# 農業女性の活躍推進 に係るシンポジウム

農村で活躍する女性の中には、農業の担い手のみならず6次産業化等の起業活動の担い手として重要な役割を果たしている方も多くいらっしゃる一方、「やりたいことがあるがどうやって始めたらいいかわからない」「うまくいくか不安だ」といった声も聞かれます。

そこで、農業者の方をはじめ、農業女性の取組に関心のある方を対象に、先進的に起業活動をされている女性農業者の取組を共有し、今後の活動の参考となるよう「農業女性の活躍推進に係るシンポジウム」を開催します。

参加費無料

定員70名

[日時] ▶▶▶ 令和元年12月18日(水) 10:30~14:00  
(受付開始 10:00~)

[会場] ▶▶▶ 北見市民会館 小ホール (北見市常盤町2-1-10)

\* 無料駐車場があります

## ● 講演「6次産業化のポイント」

講師 ▶▶▶ 城 龍二郎 氏 (日本政策金融公庫北見支店 農林水産事業統轄)

## ● 講演「女性農業者が輝く取組」

講師 ▶▶▶ 鈴木 由加 氏 (すずきっちゃん 代表)【芽室町】

## ● 情報提供「6次産業化等の支援施策」

情報提供者 ▶▶▶ 松野 綾奈 (北海道農政事務所北見地域拠点)

## ● パネルディスカッション

コーディネーター ▶▶▶ 小幡 あづさ 氏

(日本政策金融公庫札幌支店 農林水産事業 融資第五課 課長)

パネラー ▶▶▶ 鈴木 由加 氏

▶▶▶ 川瀬 保子 氏 (川瀬牧場 GYUGYU-tto terrace)【津別町】

▶▶▶ 柳谷 克彦 氏 (ファーマーズキッチン TOKO-TOKO)【清里町】

★ このほか、会場内にて取組事例の展示も行います！

〔主催〕 北海道農政事務所北見地域拠点 〔共催〕 日本政策金融公庫北見支店

〔後援〕 オホーツク総合振興局網走農業改良普及センター

# 農業者のみなさん！

## リスクへの備えはできていますか？

### 収入保険がサポートします！

農業経営には様々なリスクがあります。

自然災害で減収	倉庫の浸水被害
市場価格が下落	取引先の倒産
災害で作付不能	盗難や運搬中の事故
病気で収穫不能	為替変動で大損

#### 収入保険のポイント

- 全ての農産物を対象に、自然災害、価格低下のほか、経営努力では避けられない収入減少を補償。
  - 農業者ごとに基準収入の9割を下回った場合に、差額の9割を上限に補填。
  - 保険料等の50%、積立金の75%を国庫補助。
  - 保険期間中の大きな損害発生時には、無利子のつなぎ融資で対応。
- ※令和2年の収入保険から、安い保険料で加入できるタイプを準備。  
詳しくはお近くの農業共済組合までお問い合わせください。

#### 令和元年度 食品表示セミナー 開催

##### 《オホーツク地区》

日時：12月4日(水)13:30～

会場：オホーツク総合振興局

詳しくは  
↳ <http://www.maff.go.jp/hokkaido/press/anzen/hyoji/190827.html>

農林水産省北海道農政事務所では、(独)農林水産消費安全技術センター札幌センターと共催で、食品事業者等における食品表示制度等に関する知識と意識の向上を図るため、食品表示制度や栄養成分表示をテーマとしたセミナーを開催します。

#### 新たな食料・農業・農村基本計画に関して 国民の皆様から御意見・御要望を募集しています。

食料・農業・農村基本計画は、食料・農業・農村基本法に基づき、今後10年程度を見通した農政の中長期的なビジョンを示すもので、概ね5年ごとに見直しています。今後、企画部会を開催して議論を進めていくこととし、その検討に当たって、透明で開かれたプロセスとする観点から、国民の皆様から御意見・御要望を広く募集します。

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。→ [http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k\\_aratana/index.html](http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/index.html)

---

編集後記 めっきり寒くなってきましたね。この時期、なんと星のきれいなことか。それと早朝の屋上から見る霞(かすみ)のかかった山々。オホーツクは観光素材満載ですね。(たかはし)

---

編集：農林水産省北海道農政事務所 北見地域拠点  
〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎  
TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358  
北見地域拠点HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>